



郷土食 × ECOlogy

～ みやぎとずんだと地産地消～

毎日のくらしからエコを考えるEPOサロン
2回目のテーマは「食と生物多様性」。

私たちは毎日「多種多様な生き物」を
食べてくらしています。
毎日の「食」からECOを考えてみませんか？

地元の旬の食材を余すことなく使う「郷土食」。
宮城の有名な郷土食「ずんだ餅」にはもちろん、
数あるお餅の食べ方にはそれぞれ「旬」があります。

郷土食を知り、旬の味・地域の味を見直し
食と生物多様性の関係を考えましょう。
ずんだ作り体験と試食もあります♪



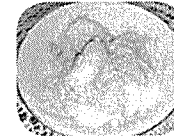
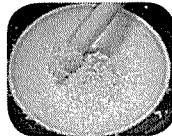
9/25 (土) 10:00 ~ 12:00

会場 東北環境パートナーシップオフィス
定員 15名 (申し込み先着順)
持ち物 エプロン、手ひぎタオル、筆記用具

講師 宮城の食を伝える会



2001年に、元宮城県生活改良普及員だった仲間3人で結成。現代の食糧自給率の低下や食の問題、特に食卓から手作り料理が減り、郷土料理が消えてゆくことに警鐘を鳴らし、講演活動や郷土食の保存に向けた活動を行っている。
香書に『ごっつおうさん—伝えたい宮城の郷土食 (河北新報出版センター)』



パートナーシップ事業



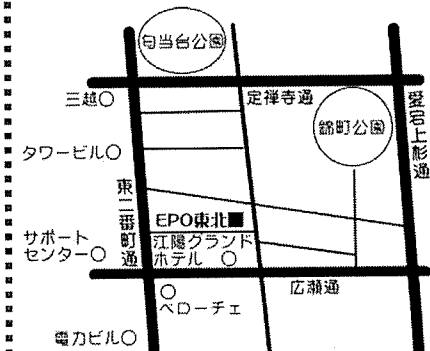
EPOサロンはCOP10パートナーシップ事業に登録しています。
2010年は「国際生物多様性年」、1992年の「地球サミット」で採択された「生物多様性条約」が翌年12月29日に発効したのを記念して制定されました。10月には名古屋でCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)が開催されます。
毎日のくらしと密接に関わる「生物多様性」について考え、関心を広めるため、EPO東北では生物多様性をテーマにとりあげたイベント、情報発信に取り組んでいます。



主催 東北環境パートナーシップオフィス (EPO東北)

Access

- ♪ 地下鉄広瀬通駅下車、「西1」出口より徒歩1分
- ♪ JR仙台駅より徒歩15分



Office 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-5-1 オークビル5F
TEL 022-290-7179
FAX 022-290-7181
E-mail info@epo-tohoku.jp
URL http://www.epo-tohoku.jp/

団体紹介



EPO TOHOKU

東北環境パートナーシップオフィス
Environmental Partnership Office Tohoku

東北環境パートナーシップオフィス (EPO東北)
Environmental Partnership Office TOHOKU

EPO東北は、東北地域の環境活動を促進するために、人と人をつなぐ拠点となることを目的として2006年に開設されました。2010年4月から環境省と財団法人みやぎ・環境とくらしネットワーク (MELON) が協働して運営しています。

たくさんの方がEPO東北をきっかけにして出会い、新たな環境活動の環が広がるよう、皆さんのパートナーシップ作りを支援します。